



# 1 開会

# 2 議事

## 議題1：第3期大東市環境基本計画の策定について

### <意見等>

事務局	【資料1-1】から【資料1-4】について説明
委員	子ども環境基本計画ワークショップについて、出席した委員から報告をお願いしたい。
委員	<p>参加している中高生がいきいきとしていて驚いた。テーマに対して一生懸命に調べて、結果を堂々と発表していた。</p> <p>全部で3つのグループに分かれての発表であった。1つ目は地球温暖化グループで、気温上昇や海面上昇という問題がある中で、市としてCO2を削減していきたいという発表であった。2つ目はごみ・リサイクルグループで、地域にポイ捨てごみをよく見かけることに対して、自分たちを含めて、市民全体に啓発していく方法について発表があった。3つ目は自然環境グループで、川がもっときれいにならないか、いかにしてごみを無くすかといったことの他に、川の汚れが在来種の絶滅に関係しているという発表があった。</p> <p>どのチームも、このワークショップで終わるのではなく、学校でも継続的に取り組むという発表であり、非常に頼もしく感じた。</p>
委員	<p>様々な学校、学年の中高生が混ざったチームでのワークショップであった。</p> <p>中高生の身近な環境課題をテーマに選んだということであるが、ごみに問題意識を持っていることが、発表を聞いての発見であった。</p> <p>ワークショップを通じていろいろ学んだということが全面に打ち出されており、ワークショップを実施してよかったと思う。学校でも継続して取り組んでいくということをどのチームも発表しており、モデル校として広がっていくといいと思う。</p> <p>重点プロジェクトでも出てくるが、単なる連携ではなく、自分たちでやっていくという内容であったことが頼もしいと感じる。</p>
委員	<p>私も10月22日の子ども環境基本計画策定委員会の成果発表会に出席した。14名の中高生による成果発表会で、一人ひとりに熱意がこもっていたと感じた。</p> <p>SDGsの4番目の目標である環境教育や環境学習の充実について、その意思を汲んで実施し、学業外にもかかわらず成果発表会に至ったことは称賛に値する。各学校と市役所の支援のおかげであり、今後も継続して取り組んでほしい。</p>

<p>委員</p>	<p>コンサルタントのエスプールさんがずいぶん協力したおかげもある。この成果発表会の内容も反映して、環境基本計画を策定してもらおう。</p> <p>計画の構成スタイルについて、データがパワーポイントのスライドになっている。これは、このまま計画として出していくということのようである。読みやすいように、イラストを多用しているのが印象的である。また、コラムも掲載されており、しっかりした説明になっている。ただ、これについて、例えば41ページではコラムに囲みがあるのでわかりやすいが、4ページでは、ページ全体がコラムになっているので、コラムなのかどうか分かりにくくなっている。ページ全体がコラムの場合、背景に色を付けるなど、コラムだと分かるようにしてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>計画としては、見やすい構成になっていると思う。</p> <p>概要版1ページ目の①計画策定の背景について、3つの環境危機の汚染については前回の審議会でも議論になった。素案の方は変わっているかと思うが、概要版の方は変わっていない。やはり、汚染とするのは大東市の計画としては違和感がある。マイクロプラスチック問題の図とする方が、後々の川ごみのことにも関連するのでいいのではないかな。</p> <p>概要版3ページ目の重点プロジェクト①で、市民がデコ活の推進に取り組むことが大切であるとは思いますが、宅配ボックスの他にできる取り組みはないのか。</p> <p>重点プロジェクト②について、廃食油の回収のように、市民一人ひとりの行動で貢献できるものを記載できないか。大阪府では、万博で使用していたグリーンアプリというものがある。例えば、廃食油を回収するとポイントがたまるような仕組みになっている。このように民間事業者と連携した取組があってもいいのではないかな。記述の中にはなくてもいいが、施策検討の参考としてほしい。</p> <p>素案28ページの基本目標1の指標で、内容が「年1回以上」とあるが意味が分かりにくい。指標と内容の表現を工夫してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>環境危機の汚染については、世界的な背景について記載している。</p> <p>概要版なので見やすいよう工夫することとし、内容については検討したい。</p> <p>デコ活については、宅配ボックスという具体的な内容を記載しているが、デコ活自体は素案31ページのコラムに記載している。コラムの図から考えると、宅配ボックスはデコ活のイメージには入っていない。ご指摘の点については、省エネ住宅の普及促進という文言に変更したい。</p> <p>なお、素案29ページにもデコ活の推進について詳しく書いている。この辺りを重点プロジェクトとして推進していくこととしている。また、タイトルがデコ活なので、廃食油の回収も含め、デコ活全般を推進していくつもりである。</p> <p>アプリについては、他市の事例として環境ポイントのように、ためたポイントをお買い物券と交換できるような、そういった民間事業者と連</p>

	<p>携した取組をこれから検討していく。また、その他の普及啓発活動についても何らかの形で年1回以上の取組を実施していく。</p> <p>指標についての記載方法は、わかりやすい表現となるよう検討したい。</p> <p>話はそれるが、この28ページに記載されている現状値について、基本的には2024年度のデータであるが、市域の温室効果ガス排出量については、2022年度現在のデータである。これは、自治体排出量カルテに基づいているため、2022年度が最新データとなる。</p>
委員	<p>アプリの紹介があれば、実践してくれる市民もいると思う。堺市がエコライフポイントというものを実証実験している。年々参加店舗が増えているようで、一定の結果が出たら報告したい。</p> <p>自治体排出量カルテについては、国からの発表が2年遅れるので仕方がないかと思う。</p>
委員	<p>アプリについては、今度検討していただければよい。</p> <p>廃食油の回収、マイボトル利用でポイントがたまり、景品と交換ができるようになっている。民間でも同様のアプリがある。</p>
委員	<p>概要版と素案について、両方の説明があったが、わかったようでわからない。両者の順番や内容が連動していないのではないか。</p> <p>今日の審議会ではどちらを基にして議論したらいいのか。</p>
事務局	<p>基本的には素案でお願いしたい。概要版はあくまでも素案を要約したものになる。</p>
委員	<p>計画の全体像をつかみやすくするように概要版がある。順番についても、理解しやすいように変更しているところがあるのではないか。</p>
委員	<p>素案にコラムがあることはありがたいが、他の委員からコラムを見やすくするように指摘があったように、コラムは本編と違う形で出してほしい。本編かコラムかが分からない。</p> <p>素案9ページにある循環経済という言葉にはなじみがないので、まさにコラムがあると、市民としては分かりやすい。</p> <p>20ページの市民アンケートについては、年齢や構成もどこかに入れておくと、どの年代が答えたアンケートかがよくわかるのではないか。</p> <p>22ページの中学生アンケートについても、どこの中学生が多いのか、地域別のデータが欲しい。なぜ恩智川の関心が高いのか不思議に思う。大東市内でも、西や東の地域の方は恩智川のことを知らない。この図からは、恩智川が大東市の中心を流れている河川であるかのような印象を受ける。</p>
事務局	<p>コラムについては、本編との違いが分かるようにしたい。</p> <p>中学生アンケートについては、市立全中学校の生徒に聞いている。</p> <p>恩智川のワードが多いのは、近隣の中学生の声が大きいという結果ではないか。また、プラスに考えれば市からの情報発信も成果として影響していると思う。ダイトン号の河川清掃が全国的にも珍しいので、恩智</p>

	川や寝屋川というキーワードが印象に残っているのではないかと。 結果については、内部でも再分析したい。
委員	素案38ページの基本目標4の(1)について、環境悪化の防止の見出しのところに立地適正化計画や住工調和条例の記載がある。その後ろに路上喫煙の記載があるので、マナー条例に対する言及があってもいいのではないかと。マナー条例自体が市民の意識にないのが現状であるので、もう少し計画に盛り込んではどうか
事務局	同じページの概要の4行目に市民や事業者への啓発について記載している。この部分にマナー条例の啓発といった形で記載したい。
委員	他の委員からも指摘があったが、素案22ページの中学生アンケート結果で、恩智川が大きく表示されていることに違和感がある。寝屋川の方が大きくなるはずではないかと。恩智川の方が寝屋川よりも汚れているということなのか。ダイトン号の清掃範囲は住道駅前付近であり、恩智川の名称は、駅前の合流地点のところで寝屋川に変わるのか。
事務局	ご質問のとおりである。ダイトン号の清掃は、大東市の西端の寝屋川から上流、東端の恩智川までを清掃範囲としている。正確には恩智川をメインとしている。
委員	理解した。
委員	重点プロジェクト③で川とまちをきれいにすると記載されているので、川をきれいにするのが目標ということは分かった。その原因を浮遊ごみとしていることは理解できるが、ごみが無くなれば本当に川はきれいになるのかが疑問である。 素案22ページの中学生アンケート結果では、臭いについても臭いという意見もある。いま現在も寝屋川を浚渫しているが、それだけのごみがたまる原因の1つに水質もあるのでないかと。臭いについても解決する必要があると考える。臭いの発生源はどこになるのか。
事務局	スカムについてのご指摘かと思う。河川管理自体については大阪府の管轄になるので、詳細についてはわからない。 恩智川が寝屋川と合流地点においては、寝屋川の方が勢いがある。また、潮の干満の影響で逆流する河川でもあるので、水が滞留しやすい構造になっており、汚泥が堆積しやすくなるのが原因の1つと考えられる。 この環境基本計画は大東市の計画であるので、大東市ができることを記載する必要がある。臭いも川のきれいさに影響していると考えられるが、臭いについては大東市単独での解決が難しい。浮遊ごみについては大東市の船で清掃し、市民が川を見るときにごみが浮いていない状況をつくっていくことが目標である。 大東市として取組ができてきているのか、目標とする以上は実現できるものでないといけないので、このような記載にしている。
委員	中学生アンケート結果にあるように、目指しているきれいな川とは、

	臭いのこともあるので、「大東市としてのきれいな川」と記載してもいいのではないかと。
委員	<p>目指している川に向けて、谷口委員は専門分野なので助言をいただきたい。</p> <p>堤防が高く、関心を持ちにくい形態になっていることが根源にあるのではないかと。そのあたりも含めて検討してほしい。</p>
委員	昔に比べたら恩智川はきれいになっていると感じる。BODやCODは昔よりも改善しているが、現在のBODはどの程度か。
事務局	<p>大阪府では、寝屋川と恩智川に環境基準を設定している。BODについてはそれぞれ3、5と設定されている。</p> <p>毎年市で環境監視をしており、昨年度の市内全河川の平均値は2.1程度であった。令和2年度以降、BODについてはアユが住める程度になっている。</p>
委員	<p>素案34ページについて、大東市は3分の1が生駒山系である。この生駒山系をどのように守っていくのか。里山保全の内容が少ないのではないかと。国史跡の指定を受けると市が手を入れるのが難しくなると思うが、川とともに、山の保全についても取組んでほしい。</p> <p>25ページのピラミッド図について、一番下の基本目標5について、パートナーシップということ考えて、26ページでも横ぐしになっているのだと思う。ただ、10ページのように、SDGsでは矢印を使用した図になっている。そのような表現にした方が分かりやすいのではないかと。</p>
事務局	そのように変更したい。
委員	<p>素案32ページ(3)の交通環境の整備で実施主体に市民が出てくるが、ピンとこない。市民は何をするのか。グリーンインフラに関して、できるだけコンクリートではなく、土の部分を増やしていくなど、もう少し市民ができる事があるかと思う。市民に関係ないと思われてはもったいない。</p> <p>また、34ページでは生駒山系についてももう少し記載してほしい。</p> <p>これは意見であるが、生物多様性について、大東市内には自然共生サイトはないかと思う。現在は活動内容に認定方針が変わってきているので、市民が誇りをもって活動できるように後押ししてほしい。</p> <p>素案36ページ(1)について、今までに5Rを掲げたことはあるのか</p>
事務局	<p>現行の計画では3Rとしており、環境副読本では4Rとしている。</p> <p>今回の素案でリペアを追加し、初めて5Rとした。</p>
委員	<p>リペアは修理であり、洋服等の場合はリフォームになる。</p> <p>リペアとした意図はあるのか。</p>
委員	小学生向けの環境教育で4Rの説明をしたら、子どもから5Rで習ったと言われた。学校では5Rが主流になっているのではないかと。

委員	<p>それを聞いて安心した。</p> <p>素案34ページの外来生物への対策で、市として支援していることはあるのか。</p>
事務局	<p>様々な情報発信を行っているところである。</p> <p>クビアカツヤカミキリについては、昨年度大東市で初めて被害があり、被害があった場合のノウハウも情報提供した。</p>
委員	<p>外来生物については早期発見が重要で、市民の関心が高まると迅速な通報に繋がる。市民への呼びかけ強化をしてほしい。</p> <p>素案45ページの重点プロジェクトの指標について、現状値が横棒なのでこれからか調査していくのかと思うが、自分ごととして行動しているかという問いかけは答え方が難しい。また、結果の扱いも難しい。例えば、食品ロスについてはどういう事をしているのかといった問いかけの方がいいのではないか。また、市民だけでなく事業者にも調査してほしい。</p> <p>事業者アンケート結果にあるように、半数の事業者が脱炭素に取り組む必要性を感じていないことが問題である。脱炭素の行動をしないことが、経済合理的に不利になることをわかってほしい。長期的に見ると必要な取組なので、市からも支援をしてほしい。事業者についても、重点プロジェクト①の指標に入れられないか。</p> <p>48ページの重点プロジェクト③について、ごみ箱の設置は中高生のワークショップで出てきた意見であるが、ごみ箱を設置すると別の問題が出てくる。提案であるが、単なるごみ箱ではなく、ナッジを利用した捨てたくなるようなごみ箱はどうか。投入口を2つにした投票形式のごみ箱の事例では、周りのごみも拾って捨ててくれたようである。他にも、ごみを捨てると「ひゅー」という落下音が鳴るごみ箱があり、どれだけ深いごみ箱なのかと興味をそそり、好評であった。こういった面白いごみ箱にすると、市民の理解も得られると思う。</p>
委員	<p>素案34ページの概要で公園の名前が挙がっている。大東市で一番大きい公園は深北緑地であるにも関わらず、記載がないのはなぜか。</p>
事務局	<p>深北緑地は寝屋川市ともまたがっており、大東で管理していない。都市公園でないかもしれないので、確認しておく。</p>
委員	<p>飯盛山系の山自体は、遠くから見るときれいだが、近くで見ると竹林が繁茂している。竹林で中に入れないう状態になっている。これも環境問題の1つとすれば、飯盛が竹藪になるのは困るので、行政だけでなく市民も一緒になって計画していく必要があると考えている。</p> <p>北条には、外来植物のハリエンジュが繁茂している。ハリエンジュは外来種なので繁殖力が強く、根が浅いので他の木を倒してしまう。そうなると山全体が痛んでくる。緑地整備は管轄外かもしれないが、大東市の山の環境を考えた時に研究する必要もあるのではないか。</p>
事務局	<p>里山の整備活用については、山林資源の価値を高めるような文言を追</p>

	加したい。
委員	<p>河川について、恩智川や寝屋川のBODと透視度はみどり会で測定している。透視度については1 m程度は見通せる。一般の参加者がどれぐらい来るかわからないが、今度の恩智川クリーン・リバープロジェクトでもやる予定である。</p> <p>浮遊ごみがあるので見た目が汚い。ポイ捨てを無くしていかないと、いつまでもごみが浮いている。食べ歩きが問題ではないかと考えている。スーパーで食べ物を買ってもポイ捨てはしない。コンビニで買って食べ歩きしている人がポイ捨てをしているのではないかな。</p> <p>どうしたらいいか考えたが、コンビニで買い物するときに、画面で年齢確認をするように、あなたはポイ捨てしませんかというような画面表示をしてはどうか。携帯灰皿を持っていないとタバコを買えないようにするとか、そういったことを行政で進めてほしい。</p> <p>川が汚いのは流れがないことも原因である。学校でも、川が流れる工夫を考えてほしい。市民としては駅前の川をきれいにしたい。</p>
委員	<p>大きな話なので、環境基本計画に反映することは難しいが、意見として受けとめたい。</p> <p>各委員からの指摘を受けて、環境基本計画について修正点がいくつか出てきた。これらの対応についてはどうするのか。</p>
事務局	<p>環境基本計画については、庁内会議でも確認が必要なものとなる。</p> <p>12月10日からパブリックコメントを実施する予定なので、それまでには、最終案として委員からのご指摘を反映したものを作成する。</p> <p>最終版の確認については、会長と副会長に一任していただきくということを進めたい。</p>
委員	各委員へは、その内容で承認いただきたい。

議題 2 : 第 6 期大東市一般廃棄物処理基本計画の策定について

<意見等>

事務局	【資料 2-1】、【資料 2-2】について説明
委員	目標値の設定の変更が大きな部分かと思う。 また、資源化率については、考え方が難しいところである。一般ごみへの資源ごみの混入を減らしたいが、資源ごみをより分けると、資源ごみ量自体が増えてしまう。
委員	素案 36 ページについて、資源化率を上げていくために、ペットボトルの水平リサイクルや廃食油の回収といった、新しい取組を実施していることかと思う。 廃食油回収の取組について、市民はどの程度協力してくれているのか。回収ボックスの設置状況について、市民から要望は出ていないか。
事務局	植田油脂と協定を締結し、令和 5 年 1 2 月から廃食油の回収を実施している。 大東市の公共施設については、本庁舎と東部図書館の 2 か所に回収ボックスを設置しており、今後設置数を増やしていきたいと考えている。また、その他に植田油脂が独自で市内のスーパー等にも設置している。 本庁舎に設置している回収ボックスにおいては、一定の回収量があるので、徐々に市民に認知されていることと思う。今後も、植田油脂と協力していきたい。
委員	大阪府でも、衣類の回収事業を実施したことがあるが、民間店舗と協力し、市民がよく利用する店舗等に回収ボックスを設置すると、周知や意識啓発に繋がっていくと思う。
委員	回収拠点の選定や、その回収拠点に回収結果等のフィードバックができるようにすれば、拠点からの協力にもつながると思う。 植田油脂は市内の事業者であるので、市内でそういった循環ができるということを市民の方へ周知すると、回収量も増えていくのではないかと。
委員	市内のスーパーの何か所か行ってみると、店舗ごとに回収ボックスに特徴があると感じた。注意書きの看板の文字が擦り切れて読めなくなっている所もあれば、絵やローマ字等で大きく目立つような表記されている所もあった。 せっかく回収ボックスを設置しているのに、市民に伝わらなければ意味がないので、各設置場所においても創意工夫をしてほしい。
委員	表示の仕方によって、入れやすかったり入れにくかったりするもので、いい事例について紹介できる機会があればいいかと思う。
委員	素案 29 ページについて、現在は家庭のペットボトルの回収は月 2 回の頻度であるが、そんなにペットボトルごみは出ないので、月に 1 回でも十分ではないか、回収が無駄ではないのかといった意見を聞いている。

	<p>4 1 ページについて、数値目標と達成状況の表が2つあるが、よく似た項目であるので、1つの表にまとめることはできないか。</p> <p>4 3 ページについて、グラフにある5つの指標が、何の指標であるのかの記載がないのでわからない。</p> <p>山等への不法投棄について、現状で月どれくらいの不法投棄が確認されているか把握しているか。</p>
事務局	<p>ペットボトル回収については、様々に意見をいただいている。逆に、週1回に増やしてほしいという要望もある。ライフスタイルによる個人差が大きいので、難しい問題と考えている。</p> <p>現在の回収頻度については、東大阪市と大東市で回収量が2対1の比率になっていることから、回収頻度も2対1とし、月2回の回収としている。</p> <p>ペットボトルのごみ量については、夏は多く、冬は少ないなど、シーズンによっても違う。多角的な要素を加味し、今後も検討していきたい。</p>
委員	<p>回収頻度については、ごみ量のデータを見ながら検討を進めていただきたい。</p> <p>4 1 ページの2つの表については、パッと見た時に違いが分かりにくい。中間目標値や最終目標値は共通のものであるので、表記については工夫してほしい。</p>
事務局	<p>2つの表については、メリハリのついた表記に変更したい。</p> <p>4 3 ページのグラフの指標については、抜けてしまっている。下の表の5つの項目が対応しているので、修正したい。</p>
事務局	<p>不法投棄については、粗大ごみの有料化の際に懸念の声が多くあったが、それによって増えたという実態はない。相談件数については年間で10件程度あると認識している。</p>
委員	<p>自分が住んでいる団地では、廃食油を管理組合事務所に集めている。市役所の本庁にも廃食油や電池等の回収ボックスがあるが、周知が進んでいない。</p> <p>回収ボックスの設置場所を明確にしたら、回収量も増えていくのではないか。</p>
事務局	<p>スーパーでも、回収ボックスを置いているところが増えてきている。市が回収する以外にも、ペットボトルの排出方法が拡充されるという観点では、利便性が上がると思うので周知していきたい。</p>
委員	<p>電池の回収の話が出たが、リチウムイオン電池の回収はそのようにしているのか。</p>
事務局	<p>公共施設8か所に回収ボックスを設置している。</p> <p>ただ、最寄りの回収場所でも遠い場合は、他のごみに混ぜて捨ててしまう方もいる。そのため、回収ボックスを増やしていく予定である。</p> <p>膨らんでしまった電池を回収ボックスに入れるのは心配だという声もあるので、その場合は市役所の窓口を持参していただき、回収している。</p>

委員	概要版2ページ左側の目標値の設定について、1人1日あたりの焼却処理量は、どのごみのことを指しているのか。家庭系ごみ排出量より多くなっているが、家庭系ごみ以外も含めた焼却処理量を意味しているのか。
事務局	家庭系や事業系、焼却場に直接持ち込まれたごみなど全て含めて、大東市から出てきて焼却処理されたごみを意味している。
委員	基本理念は一人ひとりの行動をとということであるので、最終処分量についても1人1日あたりの量を記載すれば、身近に感じることができ、啓蒙に繋がるのではないか。
事務局	表記は可能であるが、検討したい。
委員	焼却処理量は焼却場に持ち込まれた重さである。一方で、最終処分量は焼却処理をした後の重さである。 1人1日を出ているごみ量については出す方の責任の話であり、最終処分量は埋め立て地の許容量の話をしているかと思う。最終処分量について1人1日あたりの数値を記載していないのは、そういった理由からではないか。
事務局	1人1日あたりのごみ量については、ごみを出すときに減らしていけないといけないなど感じてもらうためであり、最終処分量については、年間これだけ大阪湾を埋め立てていると感じてもらうために、このような表記としている。 1人1日あたりでどの程度埋め立てているのかといった議論もあろうかとは思う。
委員	1人1日あたりの焼却処理量と最終処分量を比較すると、資源ごみ量についても示唆できるかと思ったので、提案をした。実際は焼却されているものが圧倒的に多いことであるので、示唆することが難しいと理解した。
委員	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は可燃ごみのことでいいのか。1人1日あたりの焼却処理量とどう違うのか。
事務局	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は表現が誤っており、正しくは家庭系一般ごみとなる。そのため、粗大ごみは含まれていないものになる。 1人1日あたりの焼却処理量には、家庭系ごみの他にも、事業系ごみや粗大ごみ等が含まれている。
委員	項目の中身の内訳が複雑なので、もう少し簡単にならないかと思う。どのごみのことを意味しているのか、注釈等でわかるようにしてほしい。 粗大ごみの量については、どこかに記載があるのか。
事務局	粗大ごみ量についての記載はあるが、目標値としては掲げていない。
委員	素案81ページと82ページで同じような表が3つあるので、工夫して1つにまとめてほしい。
委員	先ほどの概要版2ページの目標値のところ、焼却処理量には事業系ごみが含まれているということであるが、読み手にはそれが伝わらない。

	<p>ごみ排出量や焼却処理量のように表現が違うことについても、読み手が混乱する原因ではないか。</p> <p>家庭系ごみだけでなく事業系ごみも減らしたいのであれば、それぞれの数値を示した方が、市民にも事業者にも伝わるのではないか。目標値の設定の仕方についてはどう考えているのか。</p>
事務局	<p>家庭系も事業系も減量化を目指すべきであるが、事業系ごみに関しては景気等の外的要因で増減することもある。</p> <p>目標設定については工夫の仕方もあろうかと思う。</p>
委員	<p>この記載の仕方では、事業者が現状を把握できないのではないかと思う。</p>
委員	<p>違う観点から質問したいが、事業系ごみは有料なのか。</p>
事務局	<p>有料である。</p>
委員	<p>事業系ごみの収集にあっては、家庭系ごみは収集せず、事業系ごみだけを収集して回っているのか。</p>
事務局	<p>家庭系と事業系を一緒に収集することが多い状況である。</p>
委員	<p>省エネやコストの観点からそのようになっているのかと思うが、そうであるならば、焼却場に持ち込む時には家庭系も事業系も混ざっているので、事業系ごみの量は把握できないということになる。</p>
委員	<p>事業者の排出責任の観点からはどうであるのか。</p>
委員	<p>ごみ収集について、収集料ということで負担をしてもらっているのではないか。料金形態はどう設定しているのか。</p>
事務局	<p>重さではなく、収集回数と収集袋数に応じて料金を支払っていただいている。</p>
委員	<p>重さに応じて料金を設定していると考えていたので、事業系ごみ量を把握できていると思っていた。</p>
委員	<p>事業系一般ごみは毎日収集しているのか。</p>
事務局	<p>毎日収集か週2回かの2通りの収集方法がある。</p> <p>週2回の場合は、その地域の家庭系一般ごみと同じ日に収集している。</p>
委員	<p>事業系ごみ量が把握できないことは分かった。</p> <p>目標値の表については、注釈をつけてほしい。</p>
委員	<p>事業系に関しては、ごみ袋を有料化すれば、その販売量からある程度のごみ量の推測もできるのではないか。</p>
委員	<p>83ページ3行目の3010運動とはどういったものなのか。</p>
委員	<p>食品ロスがないように、会食等の最初の30分間と最後の10分間は食事に集中しようという運動のことである。</p> <p>計画には説明がないので、どこかに説明をつけてほしい。</p>

### 3 閉会

以上